

もろとも

津沢小学校 HP アドレス

<http://www.tym.ed.jp/sc208>

平成24年2月3日
小矢部市立津沢小学校
学校だより
第10号

あいさつと「絆」

教頭 中田 正明

東日本大震災を機に、2011年を表す漢字に選ばれた人と人との「絆」をより深める傾向が強いなか、一方で、改めて関係性を見直したり、距離をとるようになった人間関係も出てきています。ちょっとした言動で信頼されることもあれば、信用を失うこともあるのが人間関係の難しさです。

では、どうすれば人間関係をよくなるかと思っていたところ、1月7日の日本経済新聞に「良好な人間関係を築くために何が重要か」インターネットによる調査結果(右表)が掲載されていました。やはり、「一般や家庭」で上位を占めていたのは「あいさつ」でした。

本校でも、登校したら門の付近で通学班同士があいさつを交わす「あいさつリレー」を続けております。今では、どの子も笑顔で明るくあいさつできるようになりました。次第に互いの信頼関係も深まり、「欠席0(ゼロ)の日」も、なんと20日を超えています。

このように、互いにあいさつを交わすことが「人間関係づくりの一步」であり、互いに励まし合い助け合う「信頼関係～絆～」へとつながっていくと考えます。

卒業式まであと40日余りとなりました。6年生と結ばれた「絆」は、いや、6年生とだけではありません。1年生から6年生までの子どもたち、先生たちの間に「あいさつ」で結ばれた「絆」は、どこに行っても、いつまでたっても切れることはありません。残りの日々を大事にして「絆」をさらに太く、強いものにしてほしいと願っています。そして、いつまでも「つざわっ子の『絆』」を大切にしていってほしいと思います。

人間関係を良くするには...ランキング

【一般的な人間関係】

- 1位 「ありがとう」と「ごめんなさい」は必ず言う
- 2位 笑顔で明るくあいさつをする
- 3位 了解した約束は守る。実行できない約束はしない
- 4位 嘘を言わない。ごまかさない
- 5位 自分がされて嫌なことはしない

【家庭での人間関係】

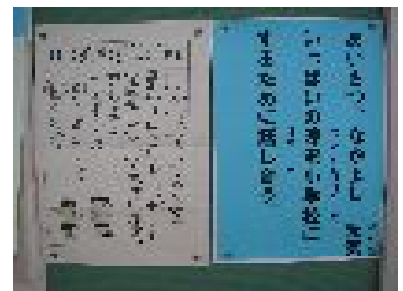
- 1位 「ありがとう」と「ごめんなさい」は必ず言う
- 2位 「いただきます」「お休み」などを忘れない
- 3位 最終的には家族を信用し味方になる
- 4位 嘘を言わない。ごまかさない
- 5位 なるべく食事を一緒にとる

(日本経済新聞「日経プラス1」2012.01.07)

合言葉でよりよい津沢小学校に

児童会担当 砂田 洋一

今年度も後、2ヶ月を残すばかりになりました。今、児童会では津沢っ子の生活の目当ての取り組みと5年生が中心となって「6年生を送る会」の計画を進めています。これから6年生から5年生や在校生にバトンが渡される時期を迎えます。昨年は、東日本大震災が起こり、東北地方に伝わる「津波でんでんこ」という合言葉を耳にすることがありました。児童会でも今年度は、多くの合言葉を使った生活の目当てが誕生しました。例えば、あいさつについては、あいさつ(あったら、いつも、さきに、つたえよう)から、さきがけあいさつ。掃除については、おすし(おくれず、すみずみまで、しずかに)からおすし清掃。さらに、廊下歩行については、アルミ(アんぜんに、ルールを守って、みんな楽しく)からアルミ遊びなどです。子どもたちは、ちょっとしたきっかけからアイデアを出していきました。合言葉を使うことによって、子ども同士「さきがけあいさつしてください」「アルミ遊びをしましょう」など気軽に声をかけやすくなりましたし、また私たちも指導しやすくなったと思います。今後は、どのような方法であいさつやもくもく清掃、アルミ遊びを実行していくか、工夫が必要と考えています。また、家庭や地域ではあいさつがまだ満足のいく状態でないこともお聞きします。この機会に、学校でも家庭や地域でも「さきがけあいさつ」を合言葉に、あいさつができる子どもを育てていきたいと考えています。声かけなどご協力をお願いします。



津沢っ子広場

今までありがとう集会に向けて

水口 淳子

6年生にこれまでお世話になった感謝の気持ちを伝える「今までありがとう集会」の準備が始まっています。

各学級の意見からは、「ありがとうの気持ちを伝えたい」「津沢小学校のことを忘れないでほしい」「中学校でも、がんばってほしい」等、6年生に対する温かい思いが伝わってきました。

この集会は、6年生が1～5年生の教室に分かれ、各学級で行います。6年生とより多くふれ合うことができる点、学級の児童一人一人が自分の仕事に責任をもって取り組み、自分たちで作り上げたという意識をもつことができるという点からこの形をとっています。

集会に向けて子どもたちが、生き生きと活動する姿を楽しみにしています。



かるた大会

川岸 明美

1年生は、1月26日に犬棒かるた大会を行いました。各クラスから実行委員を選び、その子どもたちが中心になって企画・進行をしました。

子どもたちは、冬休みにもたくさん練習したようで、「1枚以上は取りたい。」「はなよりだんご さるもきからおちるの札は必ず取りたい。」「自分の名前に出てくる字の札を取りたい。」など、自分の目当てをもって張り切って大会に臨みました。

大会では、1枚読み上げるたびに「はい」と元気よくかるたを取る声が響いていました。2回行い、その合計で枚数を競いました。

これからも古くから伝わる伝承遊びに親しむとともに、ことわざの意味についても知る機会になればと思っています。



津沢っ子の活躍

第23回少年少女ユニホック大会

女子 5年生以下の部 準優勝 津沢ホッケースポーツ少年団



お知らせ

学校だより1月号の3月の予定で、離任式を3月28日(水)とお知らせしましたが、3月29日(木)に変更になりました。